







櫻井忠溫氏著

## 戦死の所

1. その一點  
【銃剣は耕す】より(九)

ある日のことであつた。線路の

上を歩いてくる三人の支那人が

を切つて走つた。槍のやうな風

があつた。巡察兵が銃を構へて彼

が正面から突き刺さつて来る。

等に停止を命じた。すると、そ

線路の兩側のくぼみは、水で張

りつめてゐる。右手には審陽驛

の大きな半圓形の屋根が町の上

に突き出してゐる。そして泥屋

根の小さな人が土塊を投げつけ

たやうに烟のところどころにか

たまつてゐる。線路の左には、

柳の森を越して、喇嘛塔が長い

ヘタをついた南瓜のやうに坐つ

てゐる。

車の上には、北大營へ攻め込

んだT大尉と三人の守備兵が乗

つてゐる。

私は鐵道巡査兵が、夜の線路

上を歩いてゐる姿を思ひ浮べた

忍び足で歩きながら、眼を光

らしてゐる顔と、その銃剣のヒ

ラメキと。

高梁の繁る頃は、森のやうに

走つた。

彼等の左右に迫つてゐる。高い

線路の上に浮き上つてゐる彼等

が、何處から弾が飛んで來ない

CASAS TOZAN  
MIZUKAMI & CIA.  
COMMISSARIOS  
Praça Maná, 25 — Caixa Postal, 911  
Telephone, 2837 — Endereço Telegráfico "TOZAN"  
SANTOS

サントス市

珈琲 コミサリオ

カーザ 東山

ミヅカミ・イ・コンパニア  
郵局 九一號  
電話セントラル二六七號  
電信署號「TOZAN」弊店取引方法は御照會  
次第御回報申上候

◆トロボームには

【タカ點眼鏡】

の一人が、白い紙を振りかし

たやうに煙のところどころにか

たまつてゐる。線路の左には、

柳の森を越して、喇嘛塔が長い

ヘタをついた南瓜のやうに坐つ

てゐる。

車の上には、北大營へ攻め込

んだT大尉と三人の守備兵が乗

つてゐる。

私は鐵道巡査兵が、夜の線路

上を歩いてゐる姿を思ひ浮べた

忍び足で歩きながら、眼を光

らしてゐる顔と、その銃剣のヒ

ラメキと。

高梁の繁る頃は、森のやうに

走つた。

彼等の左右に迫つてゐる。高い

線路の上に浮き上つてゐる彼等

が、何處から弾が飛んで來ない

がたびにある。

寒い風が線路の上を吹いて來

る中を、彼等は息を冷らせなが

ら歩いて行く。そこへ不意に線

路の横はつてゐるやうなこと

ものが絶へない。

寒い風が線路の上を吹いて來

る中を、彼等は息を冷らせなが

ら歩いて行く。そこへ不意に線

路の横はつてゐ